

#2.義で、聖で、信実な、愛する神の統治上の行政

申命記結晶の学び 2020/3/2-8

Overview: 聖書は神の統治(全宇宙に対する神の神聖な統治上の行政)を啓示しています。神は統治上の行政の裁きにおいて、苦難を用いて信者たちを対処します。この裁きは神ご自身の家から始まります。私たちはへりだって、自分が神の統治の下におり、神の統治を尊重し、神の統治を承認することを学ぶ必要があります。神は私たちが統治するとき、私たちが必要とするすべてを供給します(I)。申命記は神の統治上の行政について語っています。賢明な神は成就する御父であり、彼の子供たちを愛して、統治上、彼らに対処します。彼が私たちが取り扱う目的は、私たちが成就するためです(II)。神の御座は、土台としての義をもって確立されています。神の義がある所に、神の王国もあります。私たちは神の統治の下で生きる神の民として、義なる生活をしなければなりません。神を愛し、神を畏れることでの私たちの失敗にもかかわらず、また私たちが忠信でないことにもかかわらず、神は必ず成功します(III)。

I. 聖書は神の統治(全宇宙に対する神の神聖な統治上の行政)を啓示しています:

イザヤ9:6 一人のみどりごが私たちに生まれる。一人の男の子が私たちに与えられる。主権は彼の肩にある。

A. 神の統治は神の王国の行政上の中心です。

B. 神は彼の神聖な統治において王、律法の設立者、裁き主です。彼は彼の統治の行政機関、立法機関、司法機関です。

C. 神の統治は特に、神の選ばれた人に対する神の対処に見られます:

1. キリストにある信者として、私たちは神から生まれて神の子供たちとなっていますが、依然として旧創造の中にあります。**2.** こういうわけで、私たちは神の統治上の対処を必要とします。**Ⅰペテロ1:7** そして、人を偏り見ることなく、それぞれの行ないに応じて裁く方を、あなたがたは御父と呼ぶのであるなら、あなたがたの寄留の時を、畏れのうちに過ごさない。

D. 神は裁くことによって統治します。神の裁きは彼の統治を遂行するためです:

1. 主なる神は各種の裁きを通して、全宇宙を一掃し、純粋にし、新しい天と新しい地を持ち、新しい宇宙が彼の義で満たされて、彼を喜ばせるようにします。

2. 神は彼の統治に符合しないすべてのものを裁きます。ですから、この時代に私たち、神の子供たちは、神の日ごとの裁きの下にあります。

3. 神は統治上の行政の裁きにおいて、烈火のような苦難を用いて信者たちを対処します。この裁きは神ご自身の家から始まります。 **月**

E. 主イエスは地上にいたとき、神の統治を承認し、絶対的に神の統治の下にある人の生活をし、ご自身と関係のあるすべてのことを神の統治にゆだねました:

Ⅰペテロ2:21 キリストもあなたがたのために苦しみを受け、あなたがたが彼の足跡に従うようにと、原型を残された…。**23** 彼はののしられても、ののしり返すことがなく、苦しめられても、脅かすことをしないで、義しく裁く方にいっさいをゆだね続けられました。**1.** 主は受けたいっさいの恥辱や傷害を、統治において義しく裁く方、すなわち義なる神にゆだね続け、その方に服従しました。

2. 主はこの義なる方に信頼し、彼の統治を承認しました。

F. キリストにある信者として、私たちは、自分が神の統治の下におり、神の統治を尊重し、神の統治を承認することを学ぶ必要があります:

1. 神は私たちが統治するとき、私たちが必要とするすべてを供給します。神は私たちに彼の備えを供給して、私たちに神の統治と協力させます。

Ⅱペテロ1:3 彼の神聖な力は、…[彼]を知る全き認識を通して、命と敬虔にかかわるすべての事柄を、私たちにすでに与えています。 **火**

2. 私たちは、神の統治を遂行する彼の力ある御手の下にへりくだらされるべきです:**Ⅰペテロ5:6** ですから、神の力ある御手の下にへりくだらされなさい。それは時至って、彼があなたがたを高く上げてくださるためです。

a. 6節で、「神の力ある御手」は神の統治を遂行する御手を指しており、特に彼の裁きに見られます。

b. 神の力ある御手の下にへりくだらされることは、神によってへりくだるようにさせられることです。しかしながら、私たちは神の活動と協力し、彼の力ある御手の下に進んでへりくだるようにさせられ、低くさせられなければなりません。

II. 申命記は神の統治上の行政について語っています:

A. 「統治上の行政」という表現は申命記に見いだされませんが、私たちはこの書を徹底的に読むなら、それが神の統治の書、神の統治上の行政の書でさえあることを見ます。

B. 神の民に対する彼の対処は、彼の統治上の行政を遂行することです:

1. 賢明な神は成就する御父であり、彼の子供たちを愛して、統治上、彼らに対処します。彼が私たちが取り扱う目的は、私たちが成就するためです。

ヘブル12:6 なぜなら、主は愛する者を取り扱い、受け入れるすべての子をむち打たれるからである。

2. イスラエルの子たちは彼らの間違いのゆえに取り扱われました。

3. モーセでさえ、20:2~13における彼の間違いのゆえに神に取り扱われました:**a.** モーセは重大な間違いを犯し、神はそれを容認することができませんでした。なぜならそれは、神の行政に触れたからです。

b. 神の行政は義であり、たとえ神はモーセを愛していても、この理由で神の行政を遂行しないことはできませんでした。

c. モーセは神を怒らせ、その結果、良き地に入るという彼の権利を失いました:

1 エホバはモーセにその地を見ることは許しましたが、入って行くことは許しませんでした。**2** むしろ、「エホバの言葉のとおり、エホバのしもべモーセは、モアブの地のその所で死んだ」—5節。**3** モーセは四十年間、忠信に神に仕えましたが、彼の間違いが神の統治上の行政を侵したので、彼は良き地に入る権利を失いました。

d. モーセが良き地に入るとそれを所有するという事柄において拒否されたことは、神の義なる統治上の行政を見せています。これは神の統治上の行政の事例、神の統治上の対処の事例でした:**1** 神がこのようにモーセを対処して、良き地に入らせなかったことは、イスラエルの子たちに神の義なる対処をさらに恐れさせました。**2** モーセが受けた刑罰は、イスラエルの子たちにとって成就でした。彼らはこのことから、義なる神が彼の統治上の対処においていかに畏るべきものであるかを学ぶべきでした。 **水**

III. 神の統治は、義で、聖で、信実な、愛する神の統治上の行政です: **A.** 神は義であり、彼の統治は義の上に確立されています:**1.** 神の統治は義を要求します。義は神の統治の事柄です。**Ⅰペテロ2:24** 私たちが罪に死んで、義に生きるために、彼は私たちの罪を、ご自身の体において、木の上で担われました。その方の打たれた傷によって、あなたがたはいやされたのです。

2. 義は神の外側の行為、方法、行動、活動と関係があります。神が行なうすべては義です。

3. 神の義とは、公正と義に関する行動において、神が何であるかです。4. 義は神の王国と関係があります：

a. 神の御座は、土台としての義をもって確立されています。

b. 神の義がある所に、神の王国もあります。

5. キリストの死の中で、私たちは罪に対してすでに死んでおり、義に生きるようになります：

a. 私たちは神の統治の下で生きる神の民として、義なる生活をしなければなりません。Ⅰヨハネ2:29 もし彼が義であることを知っているなら、あなたがたは、すべて義を実行している者も彼から生まれたことを知るのです。

b. 「義に生きる」(Ⅰペテロ2:24)という表現は、神の統治上の要求を満たすことと関係があります：

①私たちが救われたのは、神の統治の下で正しく生活するため、すなわち、神の統治の義なる要求に符合する方法で生活するためです。②私たちがキリストの死において、罪から分離されており、彼の復活において、生かされています。それは、私たちがクリスチャン生活において、神の統治の下で自然に義に生きるためです。

6. 神の統治は義を要求するので、Ⅱペテロ3:13は言います、「私たちは彼の約束にしたがって、義が住む、新しい天と新しい地を待ち望んでいます」：

a. これが意味するのは、すべてが秩序正しく、かしらに上げられ、規制されるということです。

b. すべては統治され、統制され、正常な支配の下にあるようになります。なぜなら神の御座、王国、神聖な行政がそこにあるからであり、その結果は平安と喜びです。✠

B. 神は聖です。聖は神の主要な属性の一つです：

1. 「四つの生き物は、…昼も夜も休みなく言っている、『聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな。主なる神、全能者、昔おられ、今おられ、やがて来ようとしておられる方』」(啓4:8)：

a. 啓示録4:8の強調は、三一の神が聖であり、三重に聖であることであり、神の性質(神であること)の質を指しています。神であることは、すべて聖です。b. 神の聖にあずかることは、神の性質(神であること)の質にあずかることです。ヘブル12:10 霊の父は、益のために、私たちが彼の聖にあずかるようにと取り扱われるのです。

2. 「私たちの神は、焼き尽くす火でもある」(29節)：

a. 神は彼の聖と厳しさにおいて焼き尽くす火です。

申9:3 今日、知りなさい。エホバ・あなたの神は焼き尽くす火として、あなたの前を渡られる方である。

b. 神の聖なる性質に符合しないことは何であれ、彼は焼き尽くす火として焼き尽くします。ですから、彼は厳しく、厳しさの中で彼の聖を表現します。

C. 神は信実です：

1. 神の言葉は信実です。神の口から出て来るものは何であれ成就されます。

2. 私たちを召した信実な神はまた、私たちを徹底的に聖別し、私たちの全存在を完全に守ります。

3. 神聖な信実は神の甘い属性です。

4. 申命記7:9～15で、モーセは民が、エホバ・彼らの神が信実な神であって、彼を愛し、彼の戒めを守る者には契約を守り、慈愛を施すことを認識するようにと願いました。申7:9 エホバ・あなたの神は神であり、信実な神であって、彼を愛し、彼の戒めを守る者には契約を守り、慈愛を施して千代にまで及ぼされる…。✠

D. 神は愛です：申7:7 エホバがあなたがたに愛情を注いであなたがたを選ばれた…。エレミヤ31:3 エホバは遠くか

ら私に現れて言われた、「まことに、私は永遠の愛をもってあなたを愛した。それゆえ、私はあなたを、慈愛をもって引き寄せてきた」。

1. 愛は神の本質の性質です。ですから、愛は神の本質上の属性です。

2. 申命記は、神が愛の神であることについて語っています：

a. 義の神として、神は厳格で狭いのです。愛の神として、神は寛大ですべてを包容します。

b. 神は愛する神ですが、彼の愛は成就する愛であって、駄目にする愛ではありません。神は私たちを愛し、また私たちを取り扱います。なぜなら、彼は統治上の行政を持っているからです。

3. 全体として、申命記が最終的に見せているのは、神の愛が究極的に彼の民のために働いて、神のみこころと予知にしたがって、彼らに神の満ち満ちた祝福を享受させるということです：

a. 神を愛し、神を畏れることでの私たちの失敗にもかかわらず、また私たちが忠信でないことにもかかわらず、神は成功します。b. 神の民の状態がどうであっても、神は最後まで信実であり、最終的に、彼の意図を完成して、私たちに彼の満ち満ちた祝福を享受させます。

Ⅰコリント1:7-8 私たちの主イエス・キリスト…も、あなたがたを終わりまで堅固にして、私たちの主イエス・キリストの日に、責められるところのない者としてくださいます。

E. 申命記という書は、神が何であるかの啓示において非常に特別です：1. 繰り返し語られたおきてと裁きはすべて、新しい発展を伴っており、イスラエルの神について詳細に語り出しています。2. 申命記で現された神は、義で、聖で、信実で、愛し、恵み深いだけでなく、とても細やかで、柔和で、思いやりがあり、同情的です。これが私たちの神です。✠

Crucial Point(1):神は神の家から裁きを始め、最終的に全宇宙を清める

OL1:神の統治は神の王国の行政上の中心です。

OL2:神の統治は特に、神の選ばれた人に対する神の対処に見られます。キリストにある信者として、私たちは神から生まれて神の子供たちとなっていますが、依然として旧創造の中にあります。

OL3:神は彼の統治に符合しないすべてのものを裁きます。ですから、この時代に私たち、神の子供たちは、神の日ごとの裁きの下にあります。

神の統治する裁きの目的は何でしょうか？ 神が裁かれるのは、彼の宇宙を一掃するためです。宇宙は積極的な目的のために神によって創造されましたが、サタンが入って来てそれを汚しました。今や神は裁きを通して宇宙を清めておられます。彼は全宇宙を清掃するという徹底した働きを行なっておられます。最終的に、宇宙は新しくなるでしょう。あなたはⅡペテロ3章で述べられている新しい天と新しい地の意義を知っているでしょうか？ その意義は、それが神の宇宙の新しさを示していることです。神は不潔な所に生活したり、住んだりしません。こういうわけで、神は宇宙を清め、純粋にしておられるのです。まず彼は私たち、彼の家族をきよめられます。私たちは今、彼の清掃する働きの中心です。あなたはときどき自分自身に対して言わないでしょうか、「どうして私が主イエスを愛すれば愛するほど、ますます私に困難があるのだろうか？ 私の親戚の者たちは繁盛している。彼らはとてもうまくやっている。しかし私の状況はますます悪化していくように見える」。何人かの聖徒たちは彼らの健康に問題があり、他の人たちは

彼らの子供たちに失望しています。私たちに困難があるのは、神の裁きがご自身の家族から始まるからです。あなたと私は神の裁きの下にいるのです。

適用: 青年在職・大学院生編

I ペテロ4:17 なぜなら、今や裁きが神の家から始まる時だからです。そして、まず私たちから始まるしたら、神の福音に従わない者たちの終わりは、どうなるのでしょうか？ FN「裁きが神の家から始まる」: 神の家から、神はご自身の子供たちに対して懲らしめの裁きを行なうことによって、彼の統治上の行政を始められます。それは、彼の宇宙的王国の中で、福音に従わない者、また彼の行政に反逆する者たちを裁くのに、強い根拠を持つためです。

青年在職者、大学院生であるあなたは、神が王国を設立するためにまず神の家から義に従って裁かれることを理解してください。したがって、あなたは救われたすぐ後、順風の暖かい南風が吹きますが、しばらくすると逆風の冷たい北風が吹いてくることに気づくでしょう。これはあなたが前進して、義なる命であるキリストを生かし出すため、神の愛と義の中での訓練です。ですから苦難の中で、決して落胆してはいけません。

II コリント4:16 こういうわけで、私たちは落胆しません。それどころか、私たちの外なる人が朽ちていっても、私たちの内なる人は、日ごとに新しくされていきます。17 なぜなら、私たちの受けるつかの間の軽い患難は、ますます卓越した永遠の重い栄光を、私たちにもたらすからです。

あなたは逆風の冷たい北風だけに注目して落胆しないように注意してください。苦難の環境があなたの益になります。つかの間の軽い患難は、永遠の重い栄光をあなたに与えます。これは何と有利な取引でしょう!

中国武漢のコロナ・ウイルスの拡散により、中国で2239人の尊い命が失われ(2020年2月21日12:01現在)、中国の国民生活やビジネス活動に大きな打撃を与えています。また、中国からの日本への観光客はゼロになり、日本各地の観光地やバス会社は大きな損失を被っています。このような状況下で、あなたは困難な状況だけを見て、失望してはいけません。そうではなく、コロナ・ウイルスの拡散のニュースを聞いた後、自分の霊を活用し、次の事を祈って下さい:

① 中国の人々のために、特に湖北省と武漢市の人々のために祈ってください。コロナ・ウイルスがこれ以上拡散しないように、また福音が広がるように。**②** 日本でも一部で見られるウイルスの拡散が収まるように、そして福音が不信の日本人に伝わるように。**③** あなたの内側の神の義に反する不義が徹底的に暴露され、罪の告白を通して対処され、内なる人が更新されるように、苦難を経過しても、内側に更新がないという悲惨な状況にとどまらないように。**④** そして福音のために祈り、兄弟姉妹と一緒に出て行って福音を宣べ伝えてください。

祈り: 「おお主イエスよ、私はコロナ・ウイルスの拡散について、中国のために、特に武漢市のために祈ります。武漢の兄弟姉妹と人々をコロナ・ウイルスの感染から守って下さい。地方召会を通して、福音の白い馬がさらに速く、中国全土でまた日本各地で、走ることが出来ますように。またこのような難しい環境下で、私の不義を暴露してください。私を古い状態にとどめないで下さい。私の内なる人を日ごとに更新してください! 忙しいビジネス・ライフにおいて、私を祈る人、福音を伝える人にしてください」。

Crucial Point(2): 神の行政上の取り扱いは、あなたを文化的に奉仕することから、

「実を結ぶ」奉仕をするように転換させる

OL1: 神の民に対する彼の対処は、彼の統治上の行政を遂行することです。

OL2: 私たちが救われたのは、神の統治の下で正しく生活するため、すなわち、神の統治の義なる要求に符合する方法で生活するためです。

OL3: 私たちはキリストの死において、罪から分離されており、彼の復活において、生かされています。それは、私たちがクリスチャン生活において、神の統治の下で自然に義に生きるためです。

私たちが主の名を呼び、また彼と交わりを持つとき、命を与える霊は私たちの内側で活動します。自然に私たちは、私たちと罪(sins)との間の分離させる十字架の主観的な働きを経験します。それは私たちが自動的に義に生きるためです。

さて、私たちはなぜペテロが「義に生きる」(I ペテロ2:24)という表現を用いるのか、問う必要があります。これは神の統治上の要求を満たすことと関係があります。実は、神の統治はただ一つのこと、義を要求します。こういうわけで、II ペテロ3:13 は言うのです、「しかし、私たちは彼の約束にしたがって、義が住む、新しい天と新しい地を待ち望んでいます」。I ペテロ2:23では、主イエスが絶えず、義しく裁く方にいっさいをゆだねておられたことを見ます。次に24節でペテロは、私たちは義に生きるべきであることを示します。このペテロの観念は統治上のものです。義は神の統治の事柄です。私たちが救い主によって救われたのは、神の統治の義なる要求に符合する生活をするためです。

詩篇89:14は、義は神の御座の土台であると言います。ですから、私たちは神の統治の下で生きる神の民として、義なる生活を持たなければなりません。…しかし、私たち自身ではこのような生活をする事ができないので、救い主は私たちを救って義の生活、神の統治の義なる要求を満たす生活をさせられます。

私たちの救い主キリストは木の上で私たちのすべての罪を担われ、そしてそこで私たちのために死なれたことを認識することは重要です。今や彼の死は私たちを罪から分離し、私たちを生かして、私たちが義に生きるようにします。自然に、私たちは神の統治の下にあり、義に生きる彼の統治に何の問題も持たなくなります。

適用: 奉仕者編

あなたは奉仕者として、神の統治の下で義を生きる人でなければなりません。神の義は日本の文化的な義とは異なるので、あなたは日本の文化に従って奉仕をしてはいけません。

例えばある人は自分が間違っていない事をしきりに主張します。しかし奉仕には目的があるので、その目的に到達しているかどうか重要な押さえるべきポイントです。自分が間違っていないことを主張する奉仕者は自意識過剰であって、奉仕の目的や本質を見失っています。主イエスは言われました、「私にある枝で実を結ばないものはすべて、彼は取り去られる。そして実を結ぶ枝はすべて、もっと実を結ぶようにと、彼は手入れされる(ヨハネ15:2)」。ここでの論点は「実を結ぶこと」です。細かい方法論は一切述べられておりません。奉仕において目的に到達すること、すなわち実を結ぶことが重要なのであって、「誰が間違っているのか」、あるいは「私は間違っていない」ことは重要ではありません。神は行政上の取り扱いにおいてあなたを対処し、あなたがこれらの些細な事に神経をとがらせることから、「もっと主の中に住み」、「もっ

と実を結ぶ」事に転換させます。実を結ぶとは、ぶどうの木の枝の本来の目的を果たすことであるので、それは命の中の事柄であり、また義を実行することでもあります。

奉仕の目的は、「もっと実を結ぶ」ことであり、そのため重要なことは、「もっと主の中に住む」ことです。したがって奉仕について検討する時、まず細かいことを議論するのではなく、「もっと主の中に住み、もっと実を結ぶ」ことに議論のすべてを集中させる必要があります(詳細については後で、簡単に交われば良いのです)。それは「誰が称賛されている」、「私が称賛されていない」などは論点ではありません。召会の奉仕には絶対に競争心を持ち込んではいけません。競争心は肉の働きです。

「もっと主の中に住み、もっと実を結ぶ」ために、**(1)主の言葉を内住させること、(2)互いに愛し合うこと、(3)実を結び実が残るために必要なことを何でも神に求めること(この命令は神が実を結ぶ事に集中していることを示します)、(4)罪を告白することが重要です。主があなたを祝福して、あなたが神の行政上の取り扱いを理解し、受け入れ、もっと実を結ぶ人になれますように。詩歌751を歌ってください。**

1. 今、神の国は訓練である。やがて主の統治の時には、大いなる褒美となるを知れば、ご計画成るため訓練受く祈り:「おお主イエスよ、奉仕の目的はもっと実を結ぶことです。自分が間違っていないことを主張したり、競争心によって奉仕したりしては祝福されません。主の言葉を豊かに内住させ、兄弟姉妹と共に愛の中で実を結ぶために、主に祈り求めます。私がつもつと実を結ぶために、隔てとなる私の文化、観念を取り除いてください」。

Crucial Point(3):神が愛と義なる方であることを認識し、また不義に満ちた自分自身を認識する。神の統治上の取り扱いを受け入れ、どのようにして義となるかを学ぶ

OL1: 義の神として、神は厳格で狭いのです。愛の神として、神は寛大ですべてを包容します。

OL2: 神は愛する神ですが、彼の愛は成就する愛であって、駄目にする愛ではありません。神は私たちを愛し、また私たちを取り扱います。なぜなら、彼は統治上の行政を持っているからです。

OL3: 申命記で現された神は、義で、聖で、信実で、愛し、恵み深いだけでなく、とても細やかで、柔和で、思いやりがあり、同情的です。これが私たちの神です。

愛の神として、彼はすべてを包容しますが、義の神として、彼はとても厳格で狭いのです。…彼は義の中で、私たちがあつる事柄をしたくなる時、しばしば「ノー」と言われます。

ある聖徒たちは、主の回復の中でさえ、あまりに自由で神を畏れません。私たちはいったん神の取り扱い御手に触れたなら、彼を畏れるでしょう。彼は私たちが義によって対処し、私たちが成就されて、また義となるようにされます。良き地に入り、良き地を受け継ぎ、所有し、享受しようとする者はみな、日ごとの生活のあらゆる面で、どのようにして義となるかを学ばなければなりません。

将来の展望において、申命記は、一方で、人が神の愛と統治を知り、もう一方で、人が自分の真の状態を知って、自分自身に信頼しなくなることを期待します。ですから、申命記の意図は、私たちが神を知り、また自分自身を知ることです。私たちは神を知る必要があります。特に、私たちは、神が愛しており、また私たちが対処することで義であることを知る必要があります。私たちはまた、自分自身が失敗する者であることを知る必要があります。私たちはこれを知るなら、もはや自分自身に頼らず、信実な方である神に信頼するでしょう。

最終的にこの書は、神の愛が究極的に彼の民のため

に働いて、神のみこころと予知にしたがって、彼らに神の満ち満ちた祝福を享受させることを、私たちに示しています。神を愛し、神を畏れることでの私たちの失敗にもかかわらず、また私たちが忠信でないことにもかかわらず、神は成功します。神の民の状態がどうであっても、神は最後まで信実であり、最終的に、彼の意図を完成して、私たちに彼の満ち満ちた祝福を享受させます。

適用:新人及び青少年・大学生編

新人及び若い学生の皆さんは、神の愛と神の義に基づく統治を認識し、日常生活のあらゆる面で、どのようにして義となるかを学ばなければなりません。なぜなら神の王国は義を土台としているからです。義を生きなれば、神はあなたを祝福することはできません。

例えば、次のような事例は不義です:**(1)事実に基づかない嘘をつく、或いは物事をオーバーに表現し、事実とは大きなギャップがある事を言う、(2)つり銭を余分に受け取っても、正直に伝え返金せず、かえって喜ぶ、(3)物事を同意したのに、後で実行しない、あるいはその通り実行しない、(4)人に助けてもらったのに、感謝しない、あるいは逆ギレする、(5)人に助けてもらったのに、自分がやったと言い、自分に栄光を帰す、(6)コンビニを利用しないのに、店の駐車場を利用する、(7)明らかに人が不当な扱いを受けているのに、自分とは関係がないので見て見ぬ振りをする、(8)自分を美化するため、あるいは失敗を隠すため、ストーリーを誤魔化し、全容が他人に見えないようにする、(9)親や先生あるいは上司に逆らう、(10)個人的な好みに基づいて決定し、物事や人を正しいポジションに配置しない、(11)人にふさわしい報酬を配分しない、(12)過去の前例や習慣に従う(前例に従う方が楽で、非難されにくいと考える)だけで、緊急の必要に応じるための正しい変化を受け入れない、(13)政治的に振舞い、神と人に対して誠実でない、(14)純粹でなく、言葉とは別に醜い動機を隠している、(15)体裁ばかり気にして、物事の本質を見失う、(16)感情的になり、客観性を見失い、自分だけを義とし、他人を責める、(17)感情的になり、自己憐憫に陥る、(18)自分に認識や経験が無いのに、高ぶっているのに経験者のアドバイスを受け入れない、(19)高ぶっているのに他人の批判をするが、問題を解決しない、(20)相談しに来ているのに、高ぶっており、頑固なので、自分の意見を主張し続けるなどがあります。**

神は光ですので、これら全ての暗やみ、不義を暴露します。あなたは罪の告白を通して、赦され、清められ、キリストをあなたの義なる命とすることができます。義を生きることを訓練してください。

神はまた信実です。あなたの将来の展望について、決して、自分自身に信頼せず、信実な神に信頼することを学んでください。そうすれば、神があなたと共におられ、あなたは祝福されます。決して不信仰になり思い煩ってはいけません。ただし、主と召会と共に一步一步前進するということは、あなたが何もしないということではありません。主と兄弟姉妹との交わりの中で、神の愛と義の中での訓練を受け入れ、進学、就職、資格取得、結婚など、あなたにとって必要なことに前向きにチャレンジしてください。主の中にあるあなたの前途は、輝いているのです。

祈り:「おお主イエスよ、義なる神の御前で、私は不義に満ちていることを認めます。内側が暗いので、不義を不義と認識すらできていません。主よ、私は悔い改め、自分の罪を告白します。あなたの取り扱いを受け入れます。主よ、私の生活の中で、また内側において、義であるあなたに適合しないものを照らし、対処してください。私がキリストを生き、義を生きるようになります。アーメン!」